

館小学校 令和8年度第2回学校運営協議会 議事録

令和8年9月17日（木）

9：35～ 校長室

参加者 委員 7名 コーディネーター 1名 学校教育指導員 1名
欠席 委員 5名

1 開会の言葉（含 会長挨拶）

出校日のない夏休みでした。宿題の進み方などはいかがだったでしょうか。また、9月からは生活道路の制限速度が改定になり、地域や子どもたちの安全が守られるようになったと感じます。親も子どもたちも生活のペースを大切に、家庭や学校、地域が笑顔あふれるようにしたいと思います。一年も折り返しの時期です。2学期は運動会、修学旅行、野外活動など行事の多い時期です。体験を通して大きく成長してもらいたいです。

2 議事 9：40～9：50

（1） 学校運営・教育活動について経過報告（含 校長挨拶） 質疑応答

6月11日 第1回学校運営協議会

18日 ハッピーチャレンジ祭り

皆が楽しみしている異学年交流の行事

6/25 児童集会 2年生の歌の集会 上の学年の児童が曲名につなげて全校によかったところを伝えることができた。校長の感想ではなく、児童の思いが伝わった。2年生の児童もどんなどころを頑張ったのか伝えたことに感動した。

7/1 6年生の児童が「がん教育」の学習をした（保護者の参観もあり）。

7/10 スーちゃん給食 豊明市にあるスガキヤの協力で実現。子どもたちが喜んでいた。

7月 7日～10日 個人懇談会

7/13 交通安全教室を実施 自分の命を守るように愛知県警察の交通安全教育チームの「あゆみ」に来てもらった。

17日 1学期終業式

夏休み中は大きな事故や事件もなくよかった。

9月 1日 2学期始業式

9/7 避難訓練（全校） 地震の場合の訓練 予告なし

9/8 多様性を学ぶ会（5・6年） L G B T + Q について

9月 アジアオリ・パラ大会に合わせた給食が提供されている

17日 第2回学校運営協議会・授業公開

10/17 の運動会に向けて少しずつ練習を開始

これから社会見学も増えてくる。先日は3年生がホシザキまで出かけていた

夏休みに学校運営協議会や地域協同活動の研修に参加した。その中で、子どもたちの思いを知り、このような会議に子どもたちの参画があるとよいことを学んだ。3学期の運営協議会には、児童を参加させたい。

質疑応答

委員 「あゆみ」とは警察の方？

学校 愛知県警の広報担当で交通安全指導を行う担当。女性 3 人で分かりやすく標語や自転車の乗り方について教えてくれた。

委員 生活道路の時速制限ができたが、やはりこのような機会があるとよい。

委員 以前はあったような気がするが、児童も A E D を使った講習があるのか。

学校 今でも行っている。5 年生が対象。

避難訓練は今回高学年 2 名の児童が取り残される想定で行った。本人と保護者了解の下、管理職以外だれも知らなかったのも、教職員にもよい機会になった。今後も自分ごととして考えられるようにしたい。

委員 先日、コンビニエンスストアに行った折に自転車の 1 輪車走行の練習をしていた。特別な場所でなく近くでもやっている。

(2) その他

なし

3 グループトーク 9:50~10:15

テーマ

「館小の子どもたちの意見を受けて、地域・保護者で取り組みそうなこと」

校長より、資料の説明

「子どもたちの考えや思いを大切にしたい」ことから 4 つの質問を提示。

- ① 館小学校のよいところ
- ② 課題（直してほしいところ）
- ③ 地域の人に手伝ってほしいところ
- ④ 使っていないプールの再利用アイデア

アンケートの結果より

- ・ 人間関係の良さに高い自負が見られる
- ・ 学習・生活環境への関心
- ・ 地域への関心・豊かな発想力

地域のと学校で取り組む具体策

1 「見守り・挨拶・美化」活動の体制づくり

委員 ゼロの日に横断歩道に有志の方が集まって、青い帽子を被って、パトロールをしている。組織作りはまだだが、9/10 は 10 名ほど集まった。パトロールを手伝ってくれる人は、だんだん減っている。気楽に子どもたちが帰る時刻に声をかけてもらえるとよい。

委員 今後見守りの募集をしていくよりも、家の前で声をかけて「ちょこっと見守り」のような形の方がよいのでは。

- 学校 高学年の子どもたちは、一斉下校よりも自分たちでまとまって帰る方を好む。少ない人数で帰るので、地域の人に声をかけてもらえると助かる。
- 委員 こども１１０当番の家の存在を伝える。駆けこみやすい。一日中家にいる人は少なくなっているが、「頼ってもよい場所」として周知したい。
- 委員 黄色の服や帽子を被ることで、ボランティアや旗当番として認識される。
- 学校 ウインドブレーカーや帽子などは予備があるので、要望があれば、支給します。
- 委員 コロナ禍以降、マスクをする子どもたちが増え、挨拶の声が小さくなった。返してくれない、目も合わせない子どももいるが、何かあれば避難所での生活になるので、地域の人として顔を覚えてくれるとよい。
- 委員 毎日、顔を合わせていくことで、地域性が出てくる。中学生でもよく見る子は言葉を返してくれる。
- 委員 「こども１１０番の家」がどのような場所であるか、知らない子どもたちも多い。
- 学校教育指導員 こども１１０当番の家は減少しているし、看板があっても家にいない場合もあるが、親子下校のような形で、周知してもよいのでは。
- また、各学校の活動に、ボランティア保険が利用できるようになった。
- 委員 見守りの活動で、正門あたりは先生方も立ってくれるが、なかよし広場のあたりは、登校ボランティアがおひとりで立っていることが多い。月曜日は、行き渋っている子もいて、対応していると、他の子どもたちや車も見れないこともある。
- 学校 ホシザキの社員さんも通ったり、生活道路だが１号線に抜けたりする車も多いあぶない箇所。
- 委員 以前、市内で見守りをしていた方が事故にあったことがある。ボランティアさんの講習をしていただいたことがあるので、子どもたちの安全とボランティア自身の安全も確保していきたい。
- 委員 (他市の例を出して、) こども１１０番をもっと周知していくとよいのでは。

4 連絡事項（事務局）

○今後の予定

第3回学校運営協議会 令和9年2月4日（木）9：35～

次回も授業公開日に計画している

○その他

5 閉会の言葉

6 体力放課 10：20～10：40

授業公開 10：45～11：30

参観後、流れ解散